

大型放射光施設(SPring-8)における 利用料金の考え方について

SPring-8 共用BL及び専用BLの利用制度 概要

大型研究施設における施設利用料金の考え方については、国際的学会であるICFAやIUPAPのガイドラインにそつて、実験に関する費用は原則無料で、旅費や滞在費については利用者負担となっている。ただし、企業等による成果非公開の実験に関する費用については、有料としている。

利用料金

右の利用料金体系に基づき、利用料を徴収。

※共用ビームライン(共用BL):

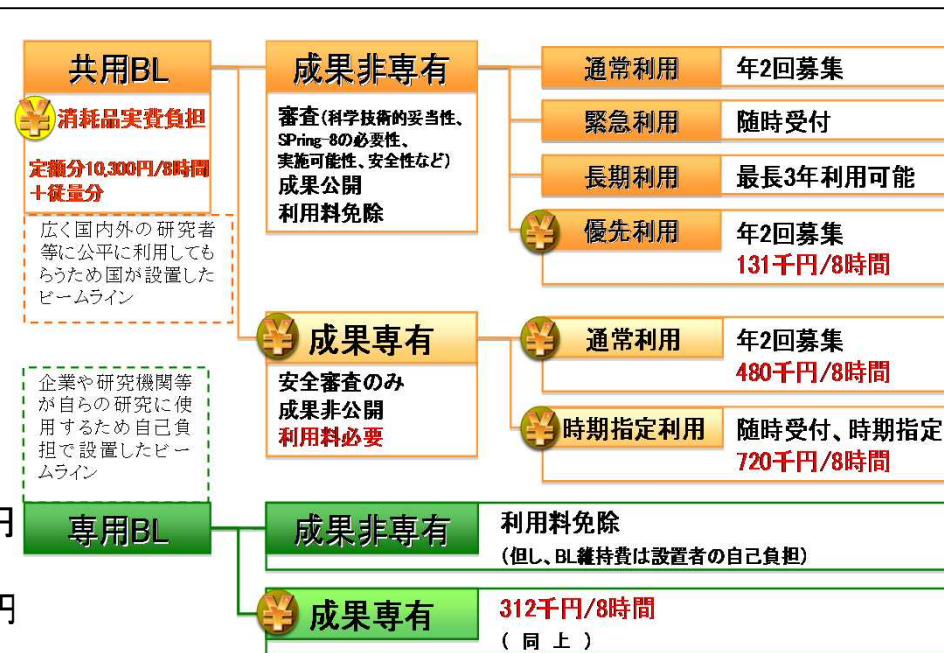
広く公募により研究者が利用するための装置。国の補助により理研が設置。(現26本)

※専用ビームライン(専用BL):

産業界等が自ら使用する等の目的で設置。**建設費及び運営・維持管理費は設置者が負担**。(現17本。運営・維持管理費は推定約13億円)

<参考> 利用料収入等に関する状況 (H22年度)

- ・利用料収入 3.5億円
- ・消耗品実費負担 1.3億円



● 欧米の施設での利用料金等状況 (H21年12月調査時点)

	成果公開時	成果非公開時 (1シフト当たり)
米国 APS	無料	約22万5千円
欧州 ESRF	無料	約29万9千円~59万3千円
SPring-8	無料	31万2千円~72万円

<留意点>

※1 換算レートは1ドル=77円

※2 換算レートは1ユーロ=103円。料金設定に幅があるのは、加盟国・非加盟国 によって料金が違うためである。

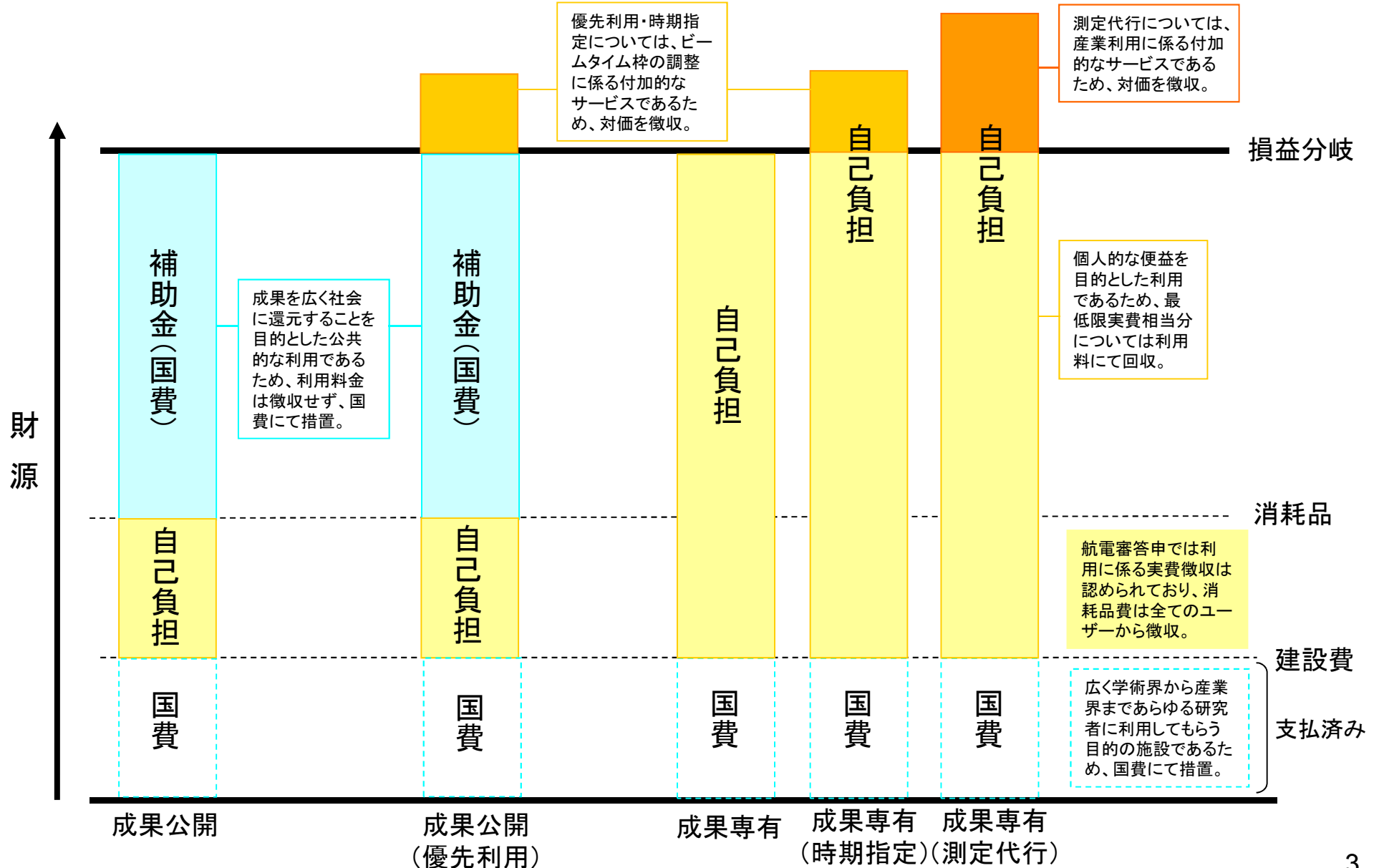
■ 事業仕分け結果を踏まえた取組の内容

事業仕分けでの「自己収入の増加に向けた努力が必要」とのご指摘を踏まえて、以下の4点に取り組んでいる。

- ①優先利用について、時間枠の拡大と応募資格の緩和(平成22年10月より拡大)
- ②時期指定利用の枠内のサービスである「測定代行」制度の拡充(平成24年度から「光電子分光」の新規追加に向けて測定装置などを整備中)
- ③有償利用増加に向けた施策の充実を検討
- ④新規利用者開拓に向けた広報・周知活動の充実

SPring-8利用料金体系に関する基本的な考え方

補助金で措置する部分と利用料金で措置する部分の考え方



成果専有利用料金の内訳（専用BL及び共用BL）

〔専用ビームライン(BL)利用料金〕(時間単価)

- { SPring-8の運営費(ただし共用BL及びそれに付属する建物に係るものを除く)
- + SPring-8の固定資産税(ただし共用BL及びそれに付属する建物に係るものを除く)
- + SPring-8の火災保険料(ただし共用BL及びそれに付属する建物に係るものを除く)}
- ÷ 全稼動BL数
- ÷ 供用時間

〔共用ビームライン(BL)利用料金〕(時間単価)

- 上記専用BL利用料金
- + (共用BLの運営費 + 共用BLの固定資産税 + 共用BLの火災保険料 + 共用BLに付属する建物の運営費、固定資産税及び火災保険料)
- ÷ 稼動共用BL数
- ÷ 供用時間

注) 1シフト=8時間

〔専用BL〕

加速器～蓄積リングまでの経費負担 時間単価: 39千円

専用BLにおける成果専有利用料金
39千円/時間

↓
312千円/シフト

〔共用BL〕

共用BLで発生する経費負担 時間単価: 21千円

共用BLにおける成果専有利用料金
60千円/時間

↓
480千円/シフト
成果専有時期指定利用料金(時期指定なしの50%増)
720千円/シフト